

2024年3月期 第3四半期

# 決算補足説明資料

2024年2月8日

証券コード:3741

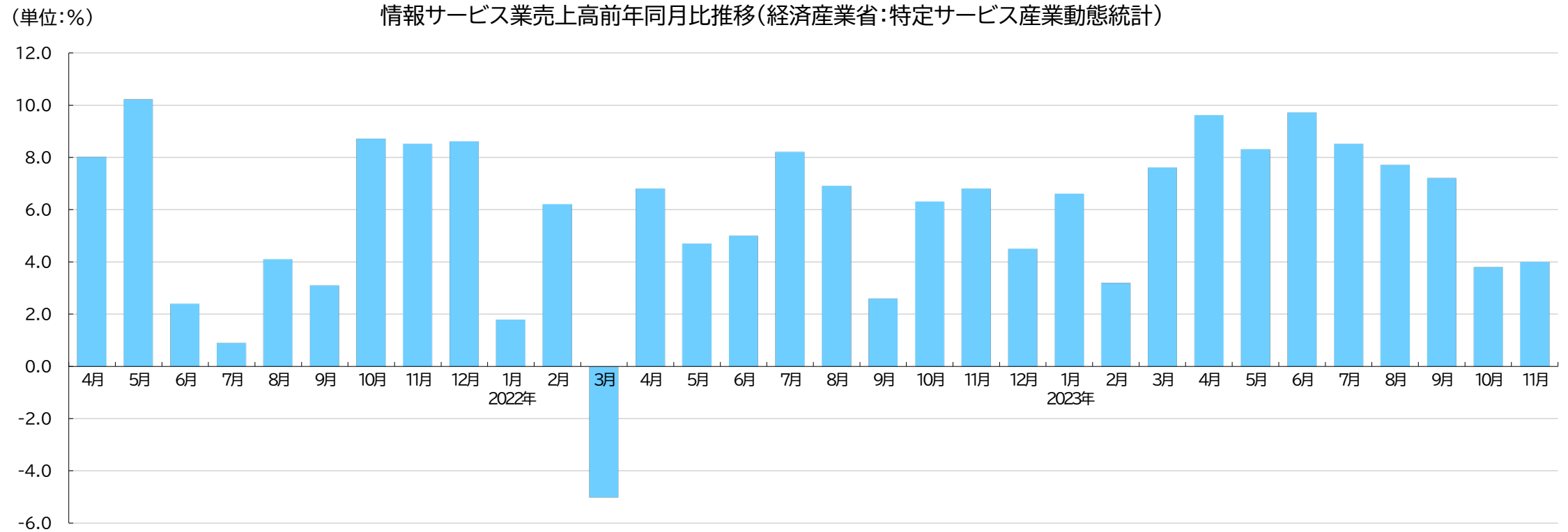


2024年3月期 第3四半期

# 決算概要

# 事業環境

## IT需要は全体的には概ね堅調と推察される



- 2023年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加

# 2024年3月期第3四半期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前年同期比	利益率
売上高	6,080	+14.3%	
営業利益	1,056	+28.9%	17.4%
経常利益	1,104	+27.4%	18.2%
当期純利益	770	+27.1%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前年同期比
受注高	5,662	+20.4%
受注残高	3,344	+29.6%

## 先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

サービスロボット関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加したことに加え、官公庁向けの開発も引き続き好調であるなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前年同期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

## 第3四半期損益計算書

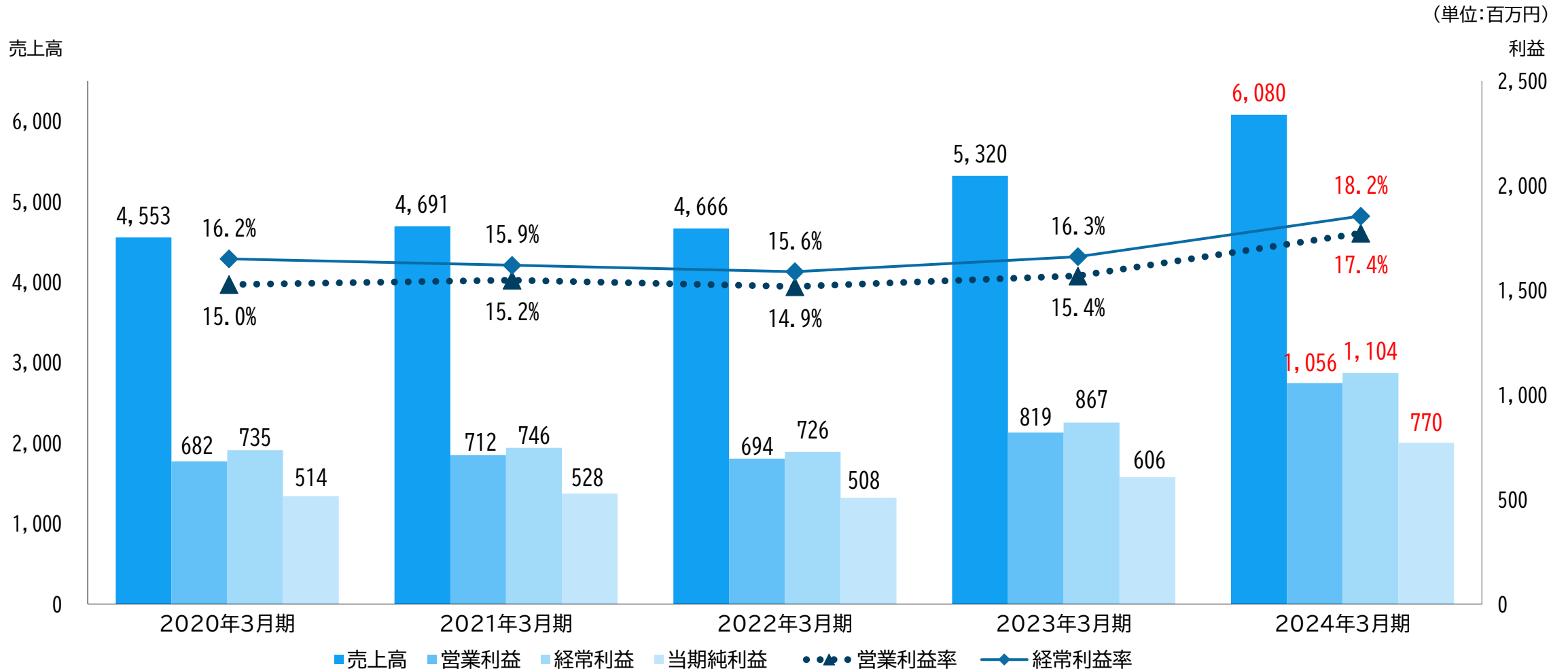
	2023年3月期第3四半期 (百万円)	2024年3月期第3四半期 (百万円)	前年同期比 (%)	期初予想 (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	5,320	6,080	114.3	—	—
売上原価	3,756	4,249	113.1	—	—
売上総利益	1,564	1,831	117.1	—	—
販売管理費	744	774	104.1	—	—
営業利益 (営業利益率)	819 (15.4%)	1,056 (17.4%)	128.9	—	—
経常利益 (経常利益率)	867 (16.3%)	1,104 (18.2%)	127.4	—	—
当期純利益	606	770	127.1	—	—

**売上原価** 外注費が大幅に増加（外注費 20.4億円、前年同期比22.1%増／売上高外注比率33.7%、前年同期31.5%）

**販売管理費** 社員数の増加、ベースアップなどにより労務費が増加、研究開発費は55百万円で、前年同期比で12.6%増

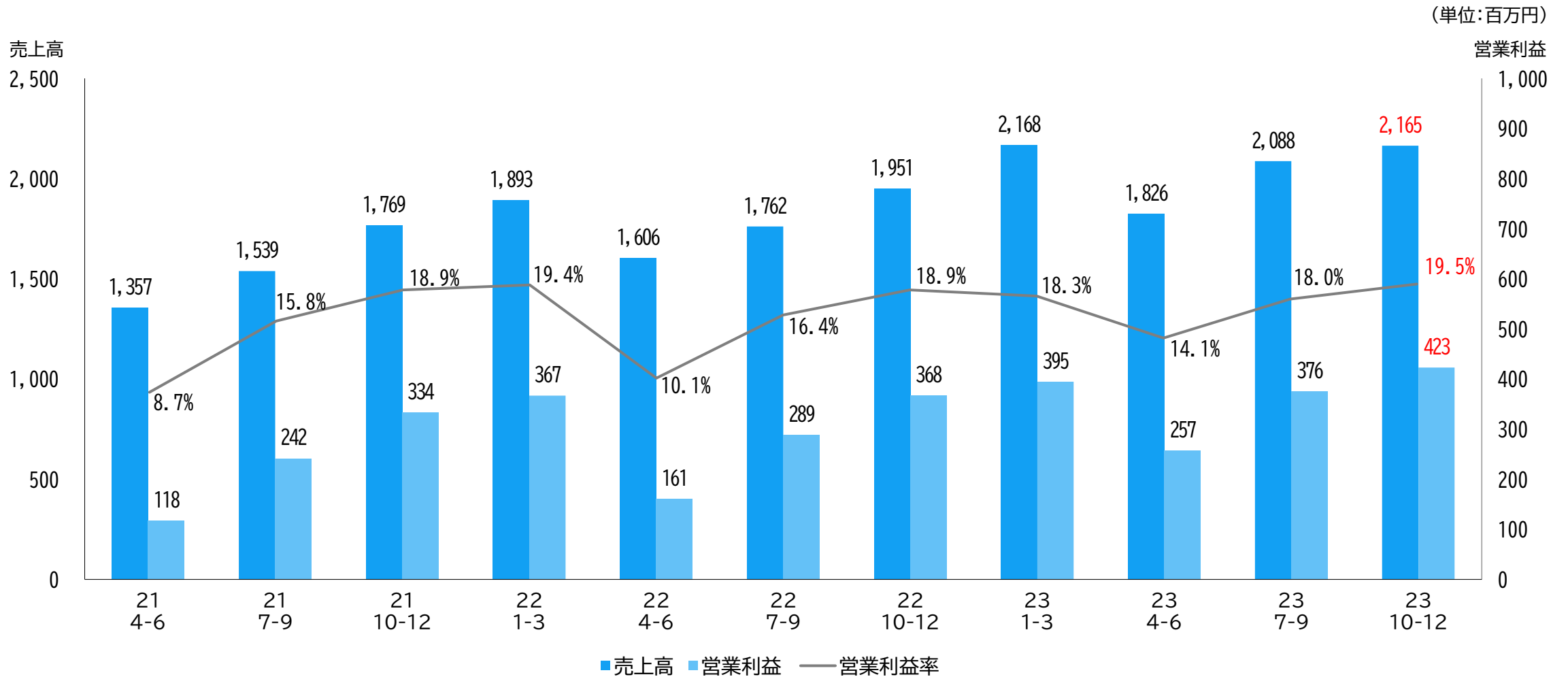
# 第3四半期決算業績推移(過去5年)

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てで過去最高



# 四半期業績推移(PL)

## 2021年度第3四半期から、9四半期連続の増収増益

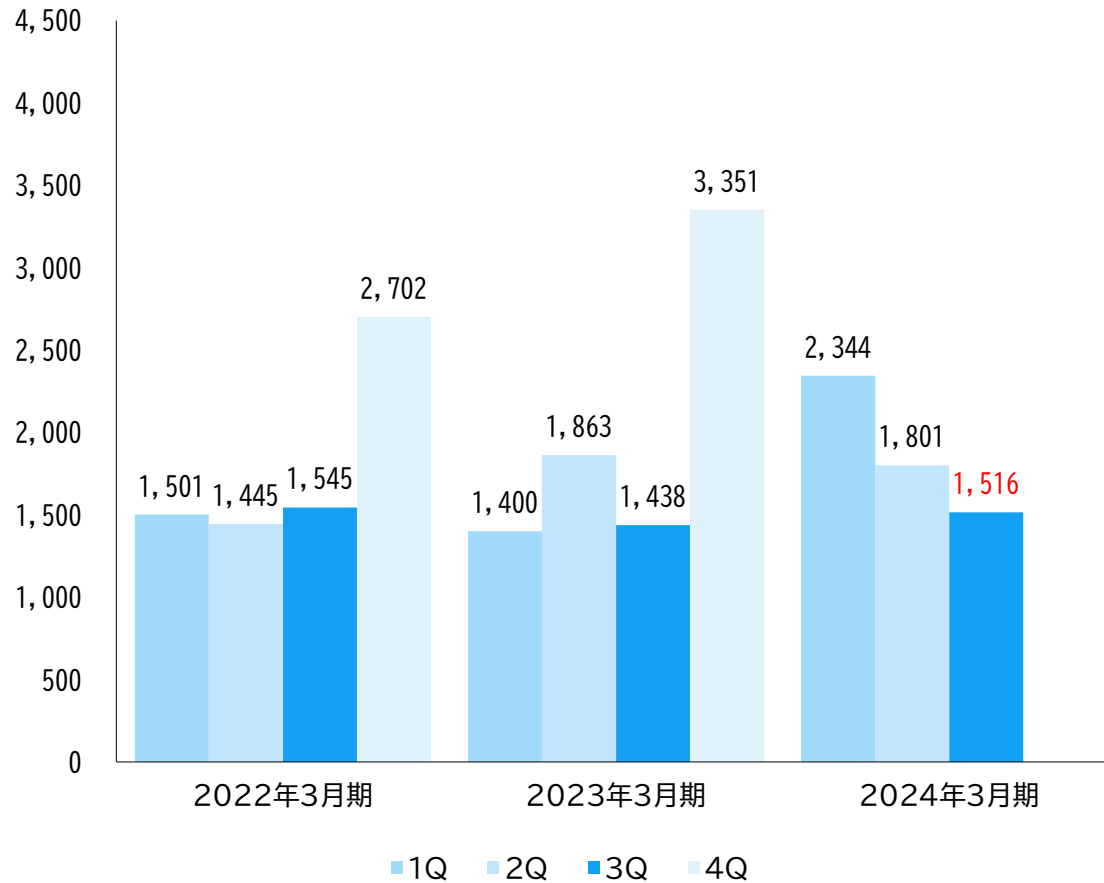


# 四半期業績推移(受注状況)

受注高は過去2位、受注残高は過去最高

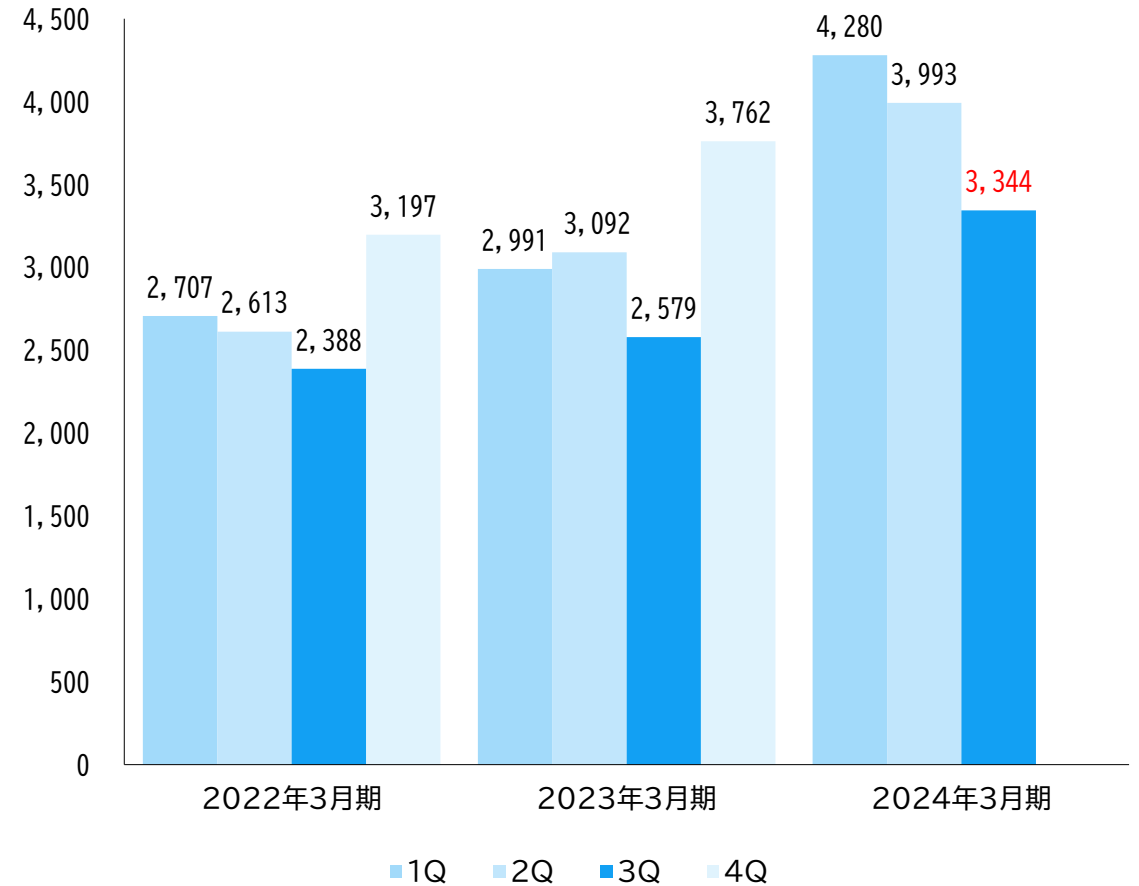
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高





## 第3四半期BF別の状況

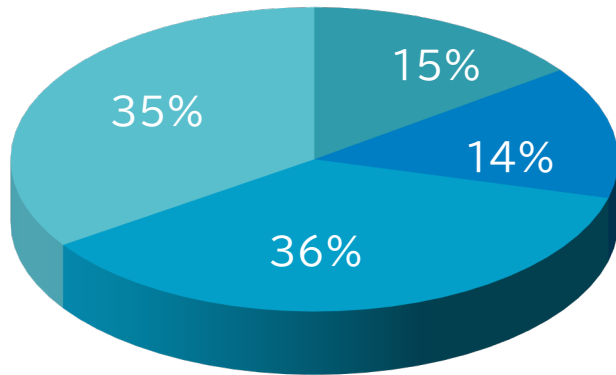
### 全てのBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2023年3月期第3四半期		2024年3月期第3四半期		前年同期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	799	15.0	900	14.8	112.7
インターネット	749	14.1	849	14.0	113.4
社会基盤システム	1,935	36.4	2,214	36.4	114.4
宇宙先端システム	1,836	34.5	2,116	34.8	115.2
合計	5,320	100.0	6,080	100.0	114.3

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加
- インターネットBFは、民間企業向けの開発が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調
- 宇宙先端システムBFは、宇宙関連の開発が堅調であることに加え、サービスロボット関連の開発が大幅に増加

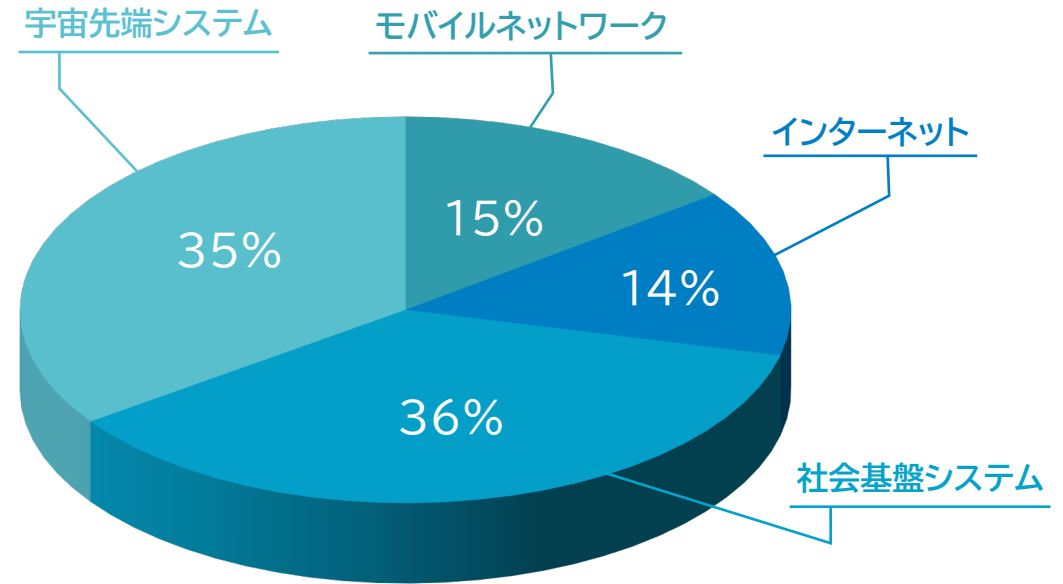
# 第3四半期BF別売上構成比

前年同期から変動なし



2023年3月期第3四半期

需要構造の変化に応じ  
柔軟に対応



2024年3月期第3四半期

## モバイルネットワークBF →

スマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加したが、全体構成比では変動なし

## インターネットBF →

民間企業向けの開発が増加し、BFの売上高は増加したが、全体構成比では変動なし

## 社会基盤システムBF →

官公庁向けの開発が引き続き好調で、BFの売上高は大幅に増加したが、全体構成比では変動なし

## 宇宙先端システムBF →

宇宙関連の開発が堅調であることに加え、サービスロボット関連の開発が大幅に増加したが、全体構成比では変動なし

## 第3四半期BF別受注状況

### 社会基盤システムBF、インターネットBF、宇宙先端システムBFの受注が大幅に増加

ビジネスフィールド	2023年3月期第3四半期		2024年3月期第3四半期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	903	350	933	103.3	319	91.0
インターネット	734	275	908	123.7	302	109.6
社会基盤システム	1,276	1,344	1,820	142.6	2,224	165.4
宇宙先端システム	1,787	608	1,999	111.8	498	82.0
合計	4,702	2,579	5,662	120.4	3,344	129.6

(受注残高のうち、今期の売上高に貢献するのは2,190百万円、前年同期(1,871百万円)と比較し17.1%の増加)

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の受注が増加
- インターネットBFは、民間企業向けの大型の開発やモバイル決済端末の開発の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの受注が増加
- 宇宙先端システムBFは、サービスロボットや宇宙関連の受注が増加

2024年3月期

# 通期業績見通し

# 2024年3月期業績見通し

## 通期業績見通しは変更なし

	2023年3月期実績(百万円)	2024年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	7,488	8,150	108.8
売上原価	5,246	5,720	109.0
売上総利益	2,241	2,430	108.4
販売管理費	1,026	1,030	100.4
営業利益 (営業利益率)	1,215 (16.2%)	1,400 (17.2%)	115.2
経常利益 (経常利益率)	1,278 (17.1%)	1,460 (17.9%)	114.2
当期純利益	878	1,010	114.9

今期の業績達成、次年度に向けた課題への対応として以下に取り組みます。

- 「モバイルネットワークBF」のお取引先の事業再編や組織変更への対応
- 「インターネットBF」及び「社会基盤システムBF」の生成AI組込みへの対応
- 「宇宙先端システムBF」の大型プロジェクトの組替えへの対応

これらを下期に重点的に対応することで、今期の業績達成と次年度の増収増益を目指します。

# 2024年3月期BF別業績見通し

宇宙先端システムBF、インターネットBFが想定を上回る展開で、全てのBFで増加する見込み

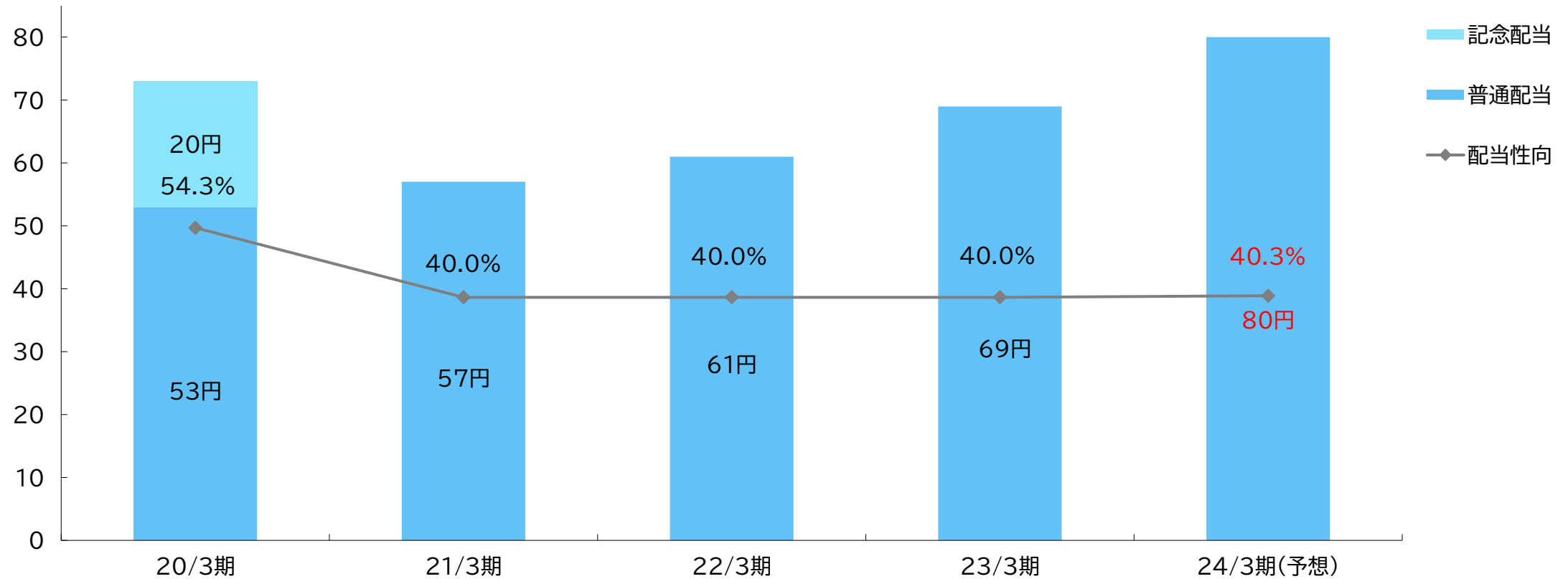
ビジネス フィールド	期初の想定	予想	第3四半期状況判断	予想
モバイル ネットワーク	XR(クロスリアリティ)関連の開発や スマートコンストラクション関連の 開発が引き続き堅調で、増加		スマートコンストラクション関連の開発 が大幅に増加し、ほぼ想定どおりの展開	
インターネット	非接触ICを利用した開発は継続するが、 他のBFとの人員配分の最適化により、 減少		民間企業向けの開発が増加し、想定を上 回る展開	
社会基盤 システム	環境分野を中心とした官公庁向けの開 発が引き続き堅調で、増加		環境分野や医療・福祉分野を中心とした 官公庁系の開発が堅調で、ほぼ想定ど おりの展開	
宇宙先端 システム	宇宙関連の開発は堅調だが、サービスロ ボット関連の大型開発案件の 計画変動が予想されるため、微増		サービスロボットや宇宙関連の開発案件 が堅調に推移し、想定を若干上回る展開	

# 配当の方針

## 配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2024年3月期は、1株当たり80円の配当予想とする。

(単位:円)



## ご参考: ニュースリリース一覧(2023年10月~2024年2月)

2023年			
10月 3日	機能安全対応RTミドルウェア「RTMSafety」について機能安全の国際規格IEC 61508の認証を更新	12月13日	<u>情報サービス産業協会ソフトウェアイノベーションシンポジウムにて「高速機械学習器による現場での故障予知」について発表</u>
10月 5日	<u>ヒューマンリソシアの「リスクリングを通じたキャリアアップ支援事業」に協力</u>	12月16日	ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(東京)にて企業IRセミナーを開催
11月 2日	<u>「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」の委託先に採択</u>	12月21日	<u>【共同研究】大阪大学に設置した超電導量子コンピュータ国産3号機のクラウドサービスを開始</u>
11月 6日	<u>EdgeTech+ 2023に出展</u>	2024年	
11月 6日	<u>当社フェローの長瀬雅之が九州工業大学の特命教授に任命</u>	1月18日	<u>ロボデックス(ロボット開発・活用展)に出展</u>
11月24日	<u>ヤンマーホールディングス株式会社の「繊細な作業を実現する力制御機能を搭載した次世代電動作業機のプロトタイプ」の開発に協力</u>	1月25日	<u>当社がソフトウェアの開発に協力した変形型月面ロボットLEV-2(愛称: SORA-Q)が、小型月着陸実証機「SLIM」の画像撮影に成功</u>
11月29日	<u>ストックボイス「東京マーケットワイド」(2023年11月29日放送)に代表取締役社長 櫻井が出演</u>	2月 5日	<u>JAXA運用中の宇宙機を対象とした故障予兆検知の実証評価に協力</u>
12月 7日	<u>ラジオNIKKEI「ザ・マネー」(2023年12月5日放送)に代表取締役社長 櫻井が出演</u>	2月 6日	日本証券新聞社主催のIRセミナー(2024年2月20日名古屋開催)にて会社説明会を開催
		2月 6日	<u>一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構主催のエンジニア選手権、CoRE(The Championship of Robotics Engineers)に参加(2024年3月23日~24日開催)</u>

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでもなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。